

平成30年度 新宿駅周辺防災対策協議会
応急救護講習会（応用コース）

平成30年9月14日 工学院大学
日本赤十字社東京都支部・東京消防庁新宿消防署



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

20180911Ver

本日の目的

- 災害時の応急救護に必要な知識・技術を身につける
- 大規模災害時に及ばない「公助」に対する、「自助・共助」の大切さを学ぶ
- 平成30年度新宿駅周辺防災対策協議会各訓練における実際行動を学ぶ
 - 10月3日（水）多数傷病者対応訓練（西口・東口）
 - 11月15日（木）自衛消防訓練（西口）

➡ 家庭や職場でも役立つ知識と技術

研修内容①講義

- 災害時の医療提供について
- トリアージの概念について
START法
- 応急救護の必要性について
- 活動に必要な資機材について
- 災害時の情報伝達・共有・管理について
重要性
情報収集の方法
とりまとめ、共有
- 組織と役割分担について

災害医療のキーワード

CSCATTT

Medical Management

- | | |
|---------------------|------------|
| • Command & Control | 指揮命令、統制/調整 |
| • Safety | 安全 |
| • Communication | 情報伝達 |
| • Assessment | 評価 |

Medical Support

- | | |
|------------------|-------|
| • Triage | トリアージ |
| • Treatment | 治療 |
| • Transportation | 搬送 |

- 災害時において、絶対的に不足する医療を補填するために臨時的、緊急的に設置される。または、大規模な行事、スポーツ大会などが開催される場所に臨時的に設置されるもの等。
 - 医療救護所
 - ①避難所救護所
 - ②緊急医療救護所
 - ③被災地内医療拠点
 - ④SCU staging care unit
 - 目的
 - ①トリアージ
 - ②応急救護
 - ③安定化
 - ④搬送
- ※「救護所」は明確に法律等で定義されていない

災害時の医療機関・医療救護所の役割分担

災害時には医療機関に重症度を問わず、傷病者が殺到することが想定される。すべての病院を役割ごとに分類するとともに、緊急医療救護所等を整備して病院間の搬送体制を確立し、限られた医療資源を有効に活用し、傷病者を円滑に受入れる。

医療機関・医療救護所の分類	基本的な役割
災害拠点病院	主に 重症者 の收容・治療
災害拠点連携病院	主に 中等症者 の收容・治療
災害医療支援病院	区市町村地域防災計画に定める医療救護活動 (ただし、小児、周産期、精神及び透析医療等は診療継続)
緊急医療救護所 (～ 超急性期)	<u>超急性期においては、災害拠点病院・災害拠点連携病院の敷地内もしくは近接地に設置</u> 一次トリアージ/ 軽症者 の応急的処置
医療救護所 (急性期 ～)	避難者の定点・巡回診療 (診察、歯科治療、服薬指導等)

都内災害医療リソース

病院

災害拠点病院	82病院
災害拠点連携病院（救急告示病院等）	138病院
災害医療支援病院	その他の病院 328病院

救護所

緊急医療救護所（病院前・単独）

避難所救護所

現場救護所（消防）

その他

傷病者集積場所→トリアージエリア

SCU（羽田空港、有明、立川基地）

トリアージ（負傷者選別）

Triage

- ・ コーヒー豆やぶどうを選別する時に使われたフランス語
- ・ ナポレオンの時代に戦地で負傷した兵隊の戦闘能力の選別に使われたころから始まる
- ・ 限られた人的・物的資源の状況下で、最大多数の傷病者に最善の医療を施すため、傷病者の緊急度と重症度により 治療優先順位 を決めることである。

トリアージは・・・

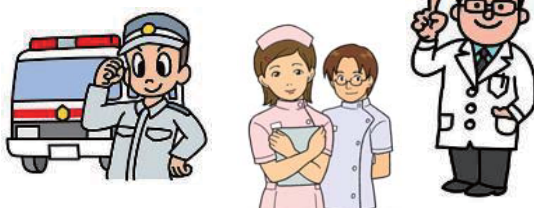
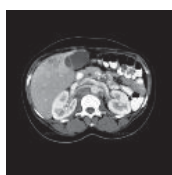
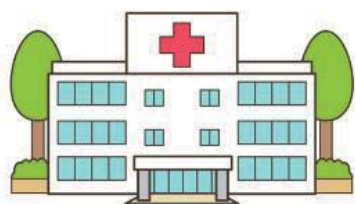
- 実際は**医療者**（**医師・看護師・救急救命士等**）が**実施**します。
- 生理学、解剖学への理解と観察手順。
- **しかし、この概念を地域の皆様にも知っていただきたいのです。**
- トリアージ実施者+記録者 2名一組で実施。
- 優先順位をつけて、搬送、処置、治療・・・
- 心肺停止は順位が後になる場合も・・・

なぜトリアージが必要か？

医療資源

平常時

治療対象

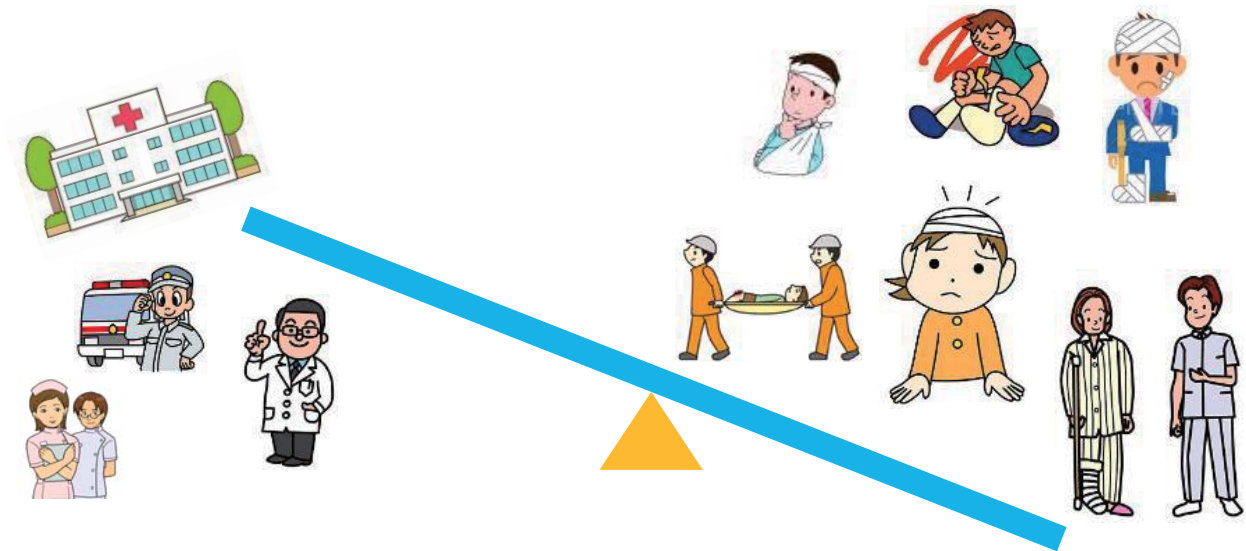


なぜトリアージが必要か？

医療資源

災害時

治療対象



限られた医療資源（人員、医薬品、資器材）で一人でも多くの人を助ける！！
→軽症、救命の見込みがない重症患者は優先度が低くなる

日本災害医学会セミナー

トリアージ・カテゴリー

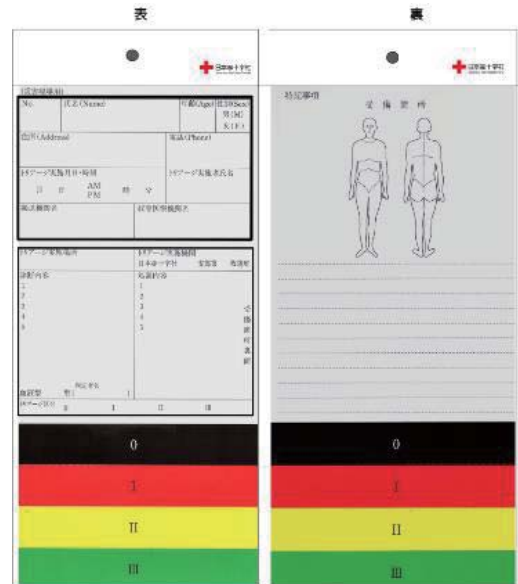
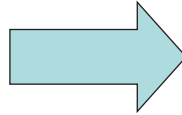
- 第1優先（最優先治療群）  赤(I)
- 第2優先（待機的治療群）  黄(II)
- 第3優先（保留群）  緑(III)
- 第4優先（無呼吸群※）  黒(O)

※不搬送群、不処置群、死亡群、治療対象外 etc

日本災害医学会セミナー

- 判定者と記録者の2名一組が理想
- トリアージタグ＝災害現場のカルテ
 - 記載内容が以後の全ての過程を左右する
 - トリアージは繰り返し行われる
 - 追記・変更がある
 - 情報を整理して記載する

不必要なところで
切り取る



START法

S:Simple

T:Triage

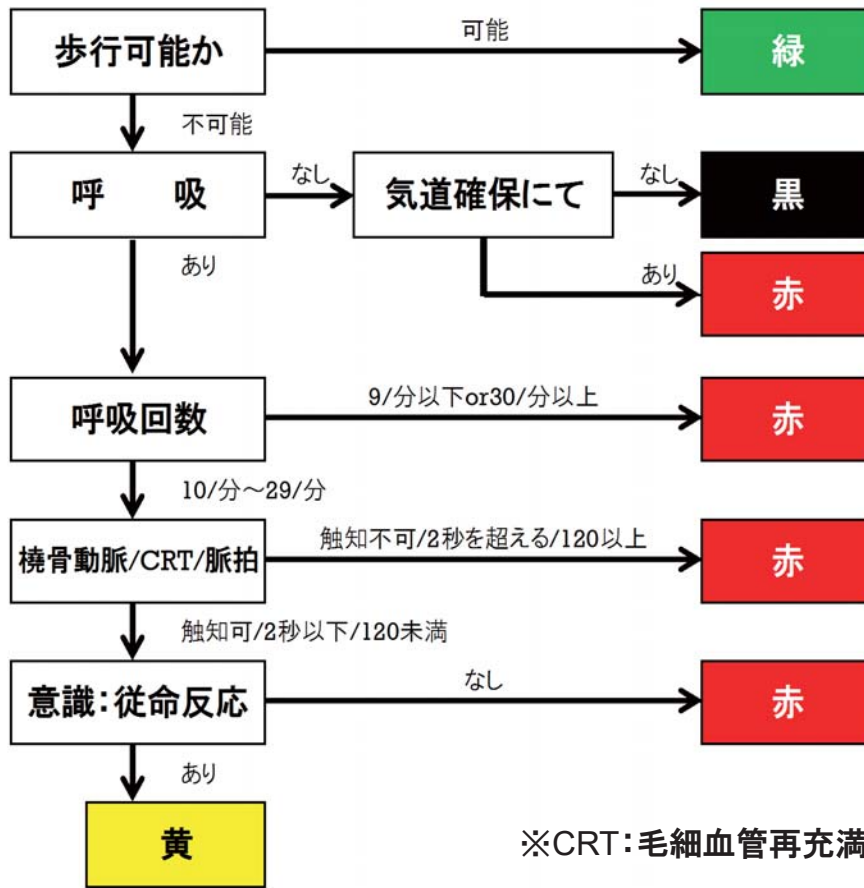
A:And

R:Rapid

T:Treatment

一人あたり **30秒以内** でトリアージを行う

→PAT法 : **P**hysiological and **A**natomical Triage



※CRT:毛細血管再充満時間

トリアージは必要に応じて何度も行われる



福知山線脱線事故より

- 救助救出現場
- 救護所
- 搬送時
- 搬送中
- 病院搬入時
- 病院での治療開始時
- 手術決定時
- 後方搬送時
- 広域医療搬送時

等

救助者の守るべきこと

- 自分自身の**安全**を確保する。
- 周囲の状況を観察し、**二次事故**の防止。
- 原則として**医薬品**を使用しない。
- あくまでも医師などに引き継ぐまでの**一次救命処置・応急手当**にとどめる。
- 必ず**医師の診療**を受けさせる。
- **死亡の判断**は行わない。

※ 死亡の判断は、医師がその資格において行う。

救助者は、**自分自身の安全を確保**しながら、傷病者を的確に観察し、いかに早く、いかに**良い状態**で医療従事者に**引き継ぐ**ために最適な方法を選択する。

※刑法第37条（緊急避難）

救命処置・応急手当等、現在の危難を避けるため、やむを得ずにした行為は、これによって生じた害が避けようとした害の程度を超えなかった場合に限り罰しない。

※民法第698条（緊急事務管理）

急迫の危害を免れさせるために事務管理をしたときは、悪意又は重大な過失があるのでなければ、これによって生じた損害を賠償する責任を負わない。

社会的行為・善意で実施した行為については「重過失」がない限り法的責任を問われることはない。

観察、記録

傷病者情報

バイタル（意識、呼吸、脈）

歩行可否

負傷部位、症状

受傷機転、時刻、場所

応急手当内容

記録者情報

その他

→医師への正しい引継ぎ

※新宿駅周辺防災対策協議会オリジナルです。

平成29年度 新宿駅周辺防災対策協議会 20170501

A1 傷病者観察記録シート（傷病者添付用）

書ける範囲で記入・印をつけ、切り取って傷病者が身につけてください。

傷病者氏名(カタカナ) _____

・ 年齢・性別 _____ 歳 男性 女性

・ 歩行可否 歩ける 歩けない

・ 自発呼吸 あり なし

・ 意識 あり なし

・ 負傷状況 切った 打った 挟まれた 刺した やけど その他 _____

・ 負傷箇所(図に×印)

・ 負傷時期 発災時 その他 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分

・ 負傷場所 _____

・ 特記事項 _____

観察記録	記入日時(24時間表記) 月 日 時 分	記入場所	記入者氏名(カタカナ)
------	-------------------------	------	-------------

応急救護場所記入欄

確認日時(24時間表記)	受入・経過・搬出情報	確認者
受入 月 日 時 分	付添い <input type="checkbox"/> あり() <input type="checkbox"/> なし	
経過 月 日 時 分	症状変化:	
搬出 月 日 時 分	移動先:	

傷病者搬出時連絡用QRコード

平成29年度 新宿駅周辺防災対策協議会 20170501

A1 傷病者情報連絡シート（現場保管用）

書ける範囲で記入・印をつけ、切り取って現場で保管してください。

傷病者氏名(カタカナ) _____

・ 年齢・性別 _____ 歳 男性 女性

・ 歩行可否 歩ける 歩けない

・ 自発呼吸 あり なし

・ 意識 あり なし

・ 特記事項 _____

観察記録	記入日時(24時間表記) 月 日 時 分	記入場所	記入者氏名(カタカナ)
------	-------------------------	------	-------------

傷病者情報記録 実習

- ・ 氏名 新宿一郎 (シンジュクイチロウ)
- ・ 年齢 24歳 (平成6年7月7日生まれ)
- ・ 性別 男性
- ・ バイタル 意識あり、脈拍85、呼吸正常
- ・ 歩行可否 歩けない
- ・ 受傷部位 右下腿骨折の疑い、痛み、変形あり
- ・ 受傷日時 平成29年9月14日 午前8時15分
- ・ 場所 新宿タワービル5階 新宿商事 (株) 内
- ・ 受傷機転 キャビネットが倒れて足を挟まれる
- ・ 記録者情報 あなたのお名前

平成29年度 新宿駅前応急対応訓練協議会 291702L

A1 傷病者観察記録シート (傷病者添付用)
書ける範囲で記入・印をつけ、切り取って傷病者が身につけてください。

傷病者氏名(カタカナ) シンジュクイチロウ

年齢・性別 24歳 男性 女性

歩行可否 歩ける 歩けない

自発呼吸 あり なし

意識 あり なし

負傷状況 切った 打った 挟まれた 刺した やけど

その他

負傷箇所(図に×印)

負傷時期 発災時 その他 8月17日 8時15分

負傷場所 新宿タワービル 新宿商事株式会社

特記事項 キャビネットに挟まれた

観察記録	記入日時(24時間表記) 8月17日 9時30分	記入場所 応急救護所	記入者氏名(カタカナ) オカモト ハコ
------	-----------------------------	---------------	------------------------

応急救護場所記入欄

確認日時(24時間表記)	受入・経過・退出情報	確認者
受入 8月17日 9時30分 付添い <input type="checkbox"/> あり() <input checked="" type="checkbox"/> なし		田中
経過 月 日 時 分 症状変化:		
退出 月 日 時 分 移動先:		

(切り取り線)

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

傷病者氏名(カタカナ) シンジュクイチロウ

年齢 24歳 男性 女性

歩行可否 歩ける 歩けない

自発呼吸 あり なし

意識 あり なし

負傷状況 切った 打った 挟まれた 刺した やけど

その他

負傷箇所(図に×印)

特記事項 右下腿骨折の疑い
キャビネットに挟まれ

0

II

平成29年度 新宿駅前応急対応訓練協議会 291702L

A1 傷病者情報連絡シート (現場保管用)
書ける範囲で記入・印をつけ、切り取って現場で保管してください。

傷病者氏名(カタカナ) シンジュクイチロウ

年齢・性別 24歳 男性 女性

歩行可否 歩ける 歩けない

自発呼吸 あり なし

意識 あり なし

特記事項 キャビネットに挟まれた

観察記録	記入日時(24時間表記) 8月17日 9時30分	記入場所 応急救護所	記入者氏名(カタカナ) オカモト ハコ
------	-----------------------------	---------------	------------------------

診療記録へ

応急救護活動に必要な資材（一例）

個人装備

- ヘルメット
- ゴーグル
- 手袋
- マスク（N95等）
- 安全靴
- 作業服（長袖・長ズボン）
- ビブス
- ヘッドライト
- 筆記用具
- メモ帳
- 無線機
- 笛
- 現金



資機材

- 簡易ベッド
- 毛布
- 衛生材料、副子
- 水（生理食塩水）
- 担架、バックボード
- テーブル、椅子
- ホワイトボード
- マーカーペン
- ライティングシート
- パソコン
- WiFiルーター
- プリンター
- コピー用紙
- 衛星電話
- ラジオ
- メガホン
- 救急セット



研修内容②救急法

- 傷病者の観察についての基礎知識
 - 意識・呼吸・脈・顔色・体温・皮膚の温度等
 - 応急手当について
 - 観察のしかた（観察記録シートの使用法）
 - きずの手当（止血・包帯）
 - 骨折の手当
 - 傷病者の搬送
- 等

研修内容③総合演習

- 学科と実技のおさらい
- 応急救護の実践
- 傷病者の搬送
- 演習内容の振り返り

